C.G.（英語英文学科・２年次生）

Ⅰ．留学レポート

① 留学を目指した理由

私は大学受験で学部を選ぶ際に、留学を視野に入れ始めました。高校 3 年生の頃から英会話教室に通い始め、ネイティブスピーカーの方々と関わるうちに、自然に海外に行きたいという思いが芽生えていきました。留学を決意する決め手となったのは、日本の学校で学ぶ英語と、ネイティブが実際に話す英語には大きな違いがあることに気づいたからです。文法の基礎は同じでも、スラングや若者言葉など、実際の会話で使われる表現は学校ではほとんど学べません。私は、教科書で学ぶ英語だけでなく、もっと実践的な英語を耳で聞き、自分の言葉として使えるようになりたいと思いました。

② 留学決定から出発までの準備期間

私はもともとパスポートを所持しており、また、カナダへの留学ではビザが必要なかったため、実際に書類や持ち物の準備を始めたのは出発の 2〜3 週間前でした。語学の勉強に関しては、実用的なスラングや簡単な挨拶などを、留学経験のある方が発信している TikTok や YouTube の動画から学びました。また、これまで学んできた内容の復習として、英単語の勉強も並行して行っていました。特に現地での速いスピードの会話についていけるように、TED TALK や YouTube に上がっているブログなどでリスニングの練習をしていました。

③ 現地到着後

私たちの便は夜にモンクトン空港へ到着する予定だったため、空港周辺のホテルを事前に予約していました。空港からホテルまでは、到着後にアプリで手配したタクシーを利用して移動しました。翌朝には、プログラムのコーディネーターの方がタクシーでホテルまで迎えに来てくださいました。空港から市街地までは約 15 分、市街地から大学までは約 30 分かかりました。オリエンテーションには、日本人だけでなく他の国から来た留学生も参加しており、初日から海外の友人をつくる良い機会となりました。ただ、到着初日は時差ボケの影響でかなり体が疲れていたため、オリエンテーションが始まる数日前には現地に到着しておくことをおすすめします。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

大学内には「スチューデントセンター」という施設があり、勉強スペースだけでなく、バーやカフェも併設されていました。私は普段、勉強する際によくこの場所を利用しており、ハロウィンのイベントや日本文化を紹介するイベントなどもここで開催されていました。電源コンセントが使える場所もいくつかあり、勉強している学生も多いため、友達と一緒にプレゼンテーションの準備をする際などにとても便利な場所だと思います。1 人で静かに集中して勉強したいときは、図書館の利用がおすすめです。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は、月曜日は午後のみで、火曜日から木曜日は 8:30～16:00 までほぼ 1 日中授業がありました。金曜日には、ほぼ毎週午後からプログラム内のアクティビティがあり、公園を散策したり、アイスホッケーを体験したりしました。課題はほぼ毎日出されましたが、真面目に取り組めば十分に終えられる量でした。ただし、毎日の課題よりも、ロールプレイやプレゼンテーションの準備の方が時間も労力もかかり、大変に感じました。試験は基本的に月に 1 回大きなテストが実施され、月に 2 回ほど小テストがある授業もありました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動の紹介は、オリエンテーションと同じ時期に行われていましたが、私はその情報を事前に把握しておらず、入部のタイミングを逃してしまいました。もし「絶対にクラブに参加したい」と考えている方がいれば、現地に到着してすぐにプログラムのコーディネーターや現地の学生に詳細を尋ねることを強くおすすめします。また、私の知る限りでは、課外活動やボランティア活動は実施されていませんでした。

⑥ 現地での住まいについて

寮の部屋は、同じプログラムに参加していた日本人の学生と 2 人で 1 部屋を共有する形でした。部屋には勉強机とベッドがそれぞれ 2 つずつ備え付けられており、少し狭めの部屋でしたが、特に不便に感じることはありませんでした。各フロアには、男女共用のトイレが約 8、浴室が 4（シャワーのみが 3、バスタブ付きが 1）設置されていました。また、地下には洗濯機と乾燥機がそれぞれ 3 台ずつあり、使用時間の制限はなく、空いている時間を見つけて自由に使うことができました。食事はバイキング形式で、利用時間が決まっていました。アレルギーや苦手な食材がある場合は、自分で選んで取らなければいいため、食事面で困ることはありませんでした。食堂の利用時間に間に合わなかった日や、気分転換をしたいときには、ダウンタウンで外食をしたり、スーパーでカップ麺やフルーツを購入したりして過ごしました。寮は大学の敷地内にあり、教室までは徒歩 5 分ほどでした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

約 1 週間の休み期間中には、仲の良かったグループと一緒に、3 週間ほど前から計画していた 5 日間の旅行に出かけました。トロントでは 2 泊、カルガリーでは 1 泊しました。トロントでは、ナイアガラの滝や水族館、CN タワー、中華街を訪れ、観光を満喫しました。カルガリーでは、きれいな湖と雪山を一望できるルイーズ湖に行きました。旅行後は疲れが出ることを見越して、授業再開の前日には余裕を持って寮に戻っていました。旅行を 100%で楽しむため、大きめの課題は旅行前に終わらせておきました。

II．留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中で最も楽しかった思い出は、初めて雪が積もった日に雪遊びをしたことです。滞在中は「雪はつ

もらないかもしれない」と言われていたため、約 10cm の雪が積もったときは、寒さよりも嬉しさの方がはるかに勝っていました。友達と一緒に雪合戦をしたり、大きな雪だるまを作ったり、雪の中で相撲を取ったり（笑)、私の地元ではなかなか体験できないことばかりで、本当に楽しい時間を過ごすことができました。ハロウィンも最も思い出に残っているイベントの一つです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

シャワーが男女別であれば、もう少し気持ちが楽だったかもしれません。また、旅行の予約をする際にカードの利用上限額を気にしなければならなかったため、事前に上限を引き上げておけばよかったと感じました。その他、人間関係や授業などで苦労したことはありませんでした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

先生の体調不良で授業が休講になったとき、代わりに自分たちでやりたいことを考えて提案するよう言われ、その自由さに驚きました。みんなで話し合い、体育館を借りてスポーツをしました。その後、先生も一緒にダウンタウンで夜ご飯を食べることになり、とても楽しく良い思い出です。

また、寮内ではシャワーを浴び終わった男子学生に上裸で出歩いている人がいて、毎回驚いていました（笑)。食堂で出されているスイーツやスーパーに売っているクッキーなどは甘すぎて、日本人の口には合わないなと思いました。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

① 日本から持っていって、特に役に立ったもの

課題で Power Point の作成や Word でのエッセイ執筆があったため、パソコンは必ず持参するべきだと思います。特に留学の初め 1 カ月は日本食が恋しくなることが多かったので、パックのお米を持って行って良かったと感じました。寮内では主に日本から持参したクロックスを履いていました。毎回運動靴を履くのは面倒なので、楽なサンダルがあると便利だと思います。水筒は大学から支給されたため持参不要で、ドライヤーも期間中は大学から借りることができるので、こだわりがなければ持っていく必要はないと思います。(帰国時のパッキングでかなりかさばり、後悔しました。)

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力の面では、特にスピーキングとリスニングが向上したと感じています。これまでは教科書にある硬い表現ばかり学んでいたため、話し方も硬くなりがちでした。しかし、現地の方の話し方を聞いて真似することで、カジュアルな表現を身につけることができました。マウントアリソン大学には多様な国籍の学生が集まっており、語学だけでなく、彼らの文化や育った環境についても知ることができました。これは海外旅行では得られない、貴重な経験だったと思います。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

初日から積極的に現地の人に話しかけることをお勧めします。環境に慣れてから頑張ろうと思うと、つ

いつい後回しになり、一対一で話せる友達を作るのが難しくなるかもしれません。初めは慣れない環境で初対面の人に話しかけるのは緊張すると思いますが、一生に一度の貴重な機会だと考え、相手にどう思われるかを気にせずに話しかけてみるといいと思います！大学内の人はほとんどがこのプログラムを知っており、温かく対応してくれるので、気軽に話しかけやすいと思います。

Ⅳ．将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

マウントアリソン大学では日本語の授業も開講されており、生徒の中には日本語を学んでいる人が数名いました。私が現地で仲良くなった友人もその一人で、よく英語で日本語を教えていました。その経験を通じて、日本語を教える楽しさに気づき、日本語学校の教師になることを考え始めました。就職についてはまだ明確には決まっていませんが、現時点では英語に関わる仕事に就きたいと考えています。将来の選択肢を広げるためにも、残りの学校生活では英語力の向上に力を入れようと思っています。

Ⅴ．写真



ハロウィンの日の写真です。事前に大きなショッピングモールで衣装を買い、当日はメイクをしてダウンタウンに遊びに行きました。今までハロウィンに本格的に仮装をしたことがなかったので、すごく新鮮で楽しかったです！



長期休みにカルガリーに行った時の写真です。ここに着くまで、早朝に起きたり長時間バスに乗って移動したりしなければならなかったので大変でしたが、その価値があるほど、予想以上に綺麗なところでした。

2024 年度（秋学期）
Mount Allison University（カナダ）

R.N.（英語英文学科・２年次生）

Ⅰ．留学レポート

① 留学を目指した理由

大学生になったら留学に行くことが中学生からの夢だったからです。2 回生になる前の春休みに、2 回生の間に行っておこうかな、という軽い気持ちで考え始めました。

② 留学決定から出発までの準備期間

カナダ専用のビザの ETA を申請しました。英語だし長いし面倒だったという印象です。留学に行くまでに学校の授業をより集中して受けることを意識しました。１日単語帳をどれくらいするかを決めて、またそれをいつするかも決めて日常生活に習慣化させました。覚えた単語は忘れないように見返して定着させることも意識しました。洋画で普段どのような会話をしているのかを観たり、コミュニケーションの取り方を勉強したりしました。

③ 現地到着後

カナダ国内で乗り継ぎが 1 回ありました。モンクトン空港から学校までタクシーを使って 1 時間ほどで着きます。オリエンテーションにはインターナショナル・オリテと新入生向けオリテがあり、両方に参加します。インターナショナル・オリテでは様々な国から来た人がいて映画を観たり、サッカーをしたり、ボーリングをしたり様々なイベントがありました。新入生向けオリテは校内で行い、寮対抗で運動会をしたり、寮のメンバーでご飯を食べたりして仲を深められました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

一つの施設で全て済ますことができ、比較的広いわけでもないので過ごしやすいです。MASSIE の学生だと街の人も知っているので、声を掛けてくれるし、周りの人全員がとても優しく接してくれました。先生もとても優しく、二人の先生で授業を回すので、すぐに親しめます。現地の人みなさんすれ違うときに挨拶をしてくれたり、先生だけでなく 1 回だけしか話したことのない学生でも声を掛けてくれたりしました。

◆ 授業内容、課題、試験

全てのクラスが高校の英語の授業のような感じです。基本、英語 4 技能を中心に授業が行われます。日常生活のロールプレイや、世界が抱えている問題のプレゼンもあります。課題は毎日各授業で出ます。毎週末には 1 本動画を見るという課題があり、この課題には結構時間がかかります。留学期間中、試験は 3 回あり、授業の内容さえ押さえておけば点数は取れます。カフェでしたりルームメートと部屋でしたりと、課題をする時間は結構楽しいです。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブは日本の大学と同じくらい種類が多くあります。スポーツ系はもちろん、各国の文化に触れたり日本の文化を紹介したりするクラブも多くあります。複数のクラブを掛け持ちすることも可能ですが、各クラブ週２回くらい活動しているので、学校の課題のことも考えると難しいと思います。

⑥ 現地での住まいについて

構内にある寮で過ごします。２人一部屋で、ルームメートは日本の学生です。お風呂、トイレ、ランドリーは共用で、寮によるかもしれないですが、バスタブは各フロア１つしかないです。３か月間毎日３食食堂で食べることができ、毎日がビュッフェです。通学距離もどの寮になるかによりますが、校内なので長めに見積もっても 10 分以内で着きます。また、地下にランドリールームと共用ルームがあって、寮内の人たちとゲームをしたりすることができます。洗濯機は３台しかないので、好きなタイミングで洗濯にいくのは難しいです。

⑦ 長期休暇の過ごし方

１週間とちょっとあり、カナダから出てはいけないので、たいてい国内旅行に行きます。ただ、大学がカナダの中でも極端に東側にあるので、この期間で西側まで旅行に行くことはかなりハードです。トロント市内、ナイアガラにはほとんどの人が行ったと思います。

Ⅱ．留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

遠足のようなインターナショナル行事が一か月に一回あり、主要都市に他の留学生たちと行ったことはとても楽しかったです。海などでサックビルとは違ったカナダの良さを感じたり、各地で有名なグルメを楽しんだりしてリフレッシュできました。ハロウィンも印象に残っていて、先生の家やその近所の人の家を仮装してトリックオアトリートと言いながら訪ねました。とても本格的だったので、日本では経験できないことだと思い、思い出に残っています。このようにカナダで生活しているなと感じることが楽しかったのはもちろん、寮生活も楽しかったです。毎日修学旅行のように楽しくて、こんなにも友達とずっと過ごせることはなかなか無いことだろうと思いました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

「家にちょっと帰りたい」と感じてもすぐに日本に帰れないことです。私自身、自分の部屋が好きなので、自分の部屋にいれないことが一番辛かったです。また、日本食を恋しく感じたり、バスタブに浸かれなかったりすることもつらかったです。ずっとシャワーだったので疲れが取れているのか気になっていました。また、冬は雪が結構積もるくらい寒く、暖房がとても効いているので乾燥がすごかったです。雪は私が行った年にはスキー用などの厚いブーツが必要なほどではなかったです。滑らない靴がよいです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日本人以外の外国の方は毎日お風呂に入らないこと。香水の匂いが結構きつかったです。あとは、水質が日本と違ったので、髪の毛がバシバシになり、肌荒れもすごかったです。揚げ物や小麦粉中心の食生活と相まって、今までで一番ひどく肌が荒れました。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

① 日本から持っていって、特に役に立ったもの

パソコンはマストです。日本の大学と同じくらいかなり使います。また、電子辞書も持っていくべきだと思いました。持っていかなかったので不便でした。日用品では、靴下とかを干すための円形のハンガーを持って行ったら便利だと思います。シャンプー、トリートメントは現地調達可能ですが、水質が日本と違ってかなりギシギシになるので、持って行った方が安心だと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

話す力がついたと思います。今まで言いたいことを思うように言えず、もどかしさを感じていました。海外の方と話しているときは、自分はどう思うのかを求められる機会が多かったです。授業中だけではなく、普段の会話すらもこんな感じです。そのため、自分の意見や思いを躊躇せず話せるようになりました。留学前と比べて、将来の視野が広がりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

みんな同じ予定で動いていて、友達とずっと一緒に過ごして勉強もして、遊んでというのはなかなか無い機会です。そして何よりも外国で長期間過ごすというずっと外国文化に触れていることが新鮮で楽しいです。正直そんなに身構えずに行ったのですが、それでも全く大丈夫なくらい安心して過ごせます。

Ⅳ．将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

英語を使って仕事をしたいとは思っていますが、具体的には決めていません。ただ、私は居住地などもこだわらないので、海外を拠点で仕事をできるようになるまでスキルアップできたらと思っています。また、卒業までに TOEIC で高得点を取りたいと考えています。毎日コツコツ TOEIC 対策できるようにすることが近い目標です。

Ⅴ．写真



ウィークリーアクティビティーのひとコマです。マーケットや教会など様々なところに行きます。この日は高校にバードウォッチングに行きました。サックビルの自然に触れたり、虫を捕まえたりしました。そのあとはみんなでティムホートンに行きました。本当にずっとこんな感じに MASSIE のみんなで過ごします。

2024 年度（秋学期）
Mount Allison University（カナダ）



大学のメインゲートです。関学生が帰る前日にちょうど雪だったので、記念写真を撮りました。夏に行って、秋、初冬と３つの季節を味わえます。季節によって景色が変わるのは楽しみの一つでもありました。一番驚いたことは夏に紫陽花が咲いていたことです。日本以外でも楽しめるんだ！ととても驚きました。